

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	倫理学	分野/教育内容	基礎分野/科学的思考の基盤
開講年次・時期	1 年前期 令和 4 年 9 月 12 日	単位数/時間	1 単位/30 時間
担当講師名	音喜多 信博	所属・職位	岩手大学人文社会科学部・准教授
		資格・免許	
授業の概要	医療実践において遭遇するであろう人間の「死」をめぐる諸問題について、生命倫理的な観点からの議論を紹介する。		
到達目標	終末期医療、安楽死、脳死臓器移植などにまつわる、倫理的・法的・社会的問題について基本的な知識を得るとともに、自らの死生観と照らし合わせながら、これらの問題についての自分なりの意見を形成する。		
事前学習内容	特になし		
成績評価の方法	試験により評価するが、授業中に書く小レポートや受講姿勢も考慮する。		
使用教科書	教科書は使用せず、資料プリントを配布する。参考文献については、授業中に適宜紹介する。		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	イントロダクションー現代社会における死の特徴		講義
第 2 回	インフォームド・コンセントについて		
第 3 回	生命倫理学という学問の成り立ち		
第 4 回	終末期医療と QOL の概念		
第 5 回	ビデオ視聴(在宅ホスピス)と小レポート作成		
第 6 回	安楽死の定義と区分		
第 7 回	積極的安楽死をめぐる日本の状況と海外の状況		
第 8 回	ビデオ視聴(積極的安楽死)と小レポート作成		
第 9 回	安楽死をめぐる哲学的問題		
第 10 回	治療中止をめぐる厚生労働省のガイドラインについて		
第 11 回	脳死の定義、脳死と臓器移植との関連		
第 12 回	ビデオ視聴(脳死臓器移植)と小レポート作成		
第 13 回	臓器移植法について		
第 14 回	脳死と植物状態		
第 15 回	まとめと試験		
履修上の留意点	1. 授業中に配布する新聞記事等の資料プリントを、授業終了後に精読すること 2. 授業中に映像資料を視聴して、それについての意見を小レポートにまとめたり、ディスカッションしたりする機会も設ける予定		